



連合長崎 *Nagasaki Chikyo*

長崎地協ニュース

新年号・No.88
 長崎市長町9-6
 長崎県勤労福祉会館内
 TEL (095)827-3500
 FAX (095)826-8950
 2022年1月1日
 発行 西野輝夢
 責任者

2022年元旦

迎春

すべての働く仲間とともに、必ずそばにいる存在へ



連合長崎地域協議会
議長 塩田 淑文

新年明けましておめでとうございます。

連合長崎地協構成組織の組合員の皆様に於かれましては、ご家族お揃いで幸多き新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は連合長崎地協の諸活動対しまして、多大なる

ご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、一昨年からの新型コロナウイルスの感染拡大により国内の経済活動が停滞する中で、地協の活動も自粛や延期、または内容を大幅に変更して実施するなど活動に大きな支障をきたすこととなりました。感染も一旦は落ち着いたように見えますが、新型変異株の発生による感染拡大の恐れがあり予断を許さない状況にあります。引き続き十分な感染予防対策を実施しながら状況に応じた活動を進めていきたいと考えます。

また政策実現活動においては、昨年10月に施行された

衆議院議員選挙におきまして、連合長崎地協として3名の推薦を行い、2区においては惜敗しましたが、1区「西岡 秀子」氏 4区「末次 精一」氏の当選を果たすことができました。皆様方のご尽力に感謝申し上げます。私たちは「働くことを軸とする安心社会」を目指す上で、働く者・生活者の立場に立った政策制度要求の実現に向けた取り組みを継続して展開できることとなりました。

本年におきましても、参議院議員選挙が7月に施行されます。大変厳しい戦いが予想されますが、我々の声を地方から国政に反映させるためにも絶対に負けられない戦いでありますので、引き続き、皆様のご支援を心よりお願い申し上げます。

最後に、私たちの願いは、すべての働く者の雇用と生活の安定、更には平和で安心・安全な社会の実現です。2022春季生活闘争の勝利、政策制度要求の実現、政治活動の取り組みなど、連合長崎地協の総力を結集し、意義ある活動を行っていききたいと思います。

この一年が、皆様にとって健やかで輝かしい一年となりますことを祈念申し上げ、新年のあいさついたします。

地協の新しい体制とともに政策実現へ



明けましておめでとうございます。

昨年に見つかった新型コロナウイルス感染症は、瞬く間に全世界を恐怖の底に陥れました。日本においては、経済活動が制限されるなか、延期されていた東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されましたが、第5波が終息し、感染状況が下火になった安心感もつかの間、変異株「オミクロン株」の出現により、感染拡大への危機感が急拡大しています。

このような中で昨年は、連合地協の議長ほか役員の皆さんも代われ、新しい体制がスタートしました。長崎市、西海市、西彼杵郡の推薦議員は議会ごとに連合地協役員の皆さんと政策連絡会議を開催しています。これは行政への意見や、各労組が抱える問題点について協議し、市政・町政に反映しようとするものです。これからも、働く人達の声を結集した連合地協の政策とともに、「活力ある住みよい地域づくりをめざして」全議員が取り組んでまいります。

長崎市議会・市民クラブ
代表 野口 達也

長崎市に『2022年度政策制度』要求書を提出

12月17日(金)、連合長崎地協は長崎市議会市民クラブと共に、長崎市役所において11分野26項目にわたる「2022年度政策制度」に関する要求書を田上富久長崎市長に手渡しました。冒頭、塩田議長から、長崎地協活動へのご協力及びコロナ禍での市政の対応に感謝を申し上げ、「長崎は百年に一度の進化の時を迎えていると伺っている。働く者の声に耳を傾けて頂き、共に前進することをお願いしたい。この要求書は、私たち



の視点から見た、困っていることを解決したい、そしてこの長崎で生活していきたいという思いで要求をさせていただきます。」と述べました。

続いて西野事務局長より、要請書の概要・趣旨について説明いたしました。労働行政の強化、子育て支援の充実、選挙における投票率向上の取り組みなど、個別の要求について提言し、意見交換を行いました。要求書に対する長崎市からの回答は2月下旬の予定です。